

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【公表番号】特表2015-536953(P2015-536953A)

【公表日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-081

【出願番号】特願2015-540873(P2015-540873)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	13/08	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/717	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/454	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/717	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	31/454	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号6のアミノ酸配列を含む、35アミノ酸長以下の非スプライシング型XBP1

ペプチド、

配列番号 10 のアミノ酸配列を含む、35 アミノ酸長以下のスプライシング型 XBP1

ペプチド、および

配列番号 12 のアミノ酸配列を含む、35 アミノ酸長以下の CD138 ペプチド
を含む組成物であって、乳がん、結腸がん、肺がん、前立腺がんもしくは白血病を有する
被験体において免疫応答を誘導すること、および／または被験体における乳がん、結腸がん、
肺がん、前立腺がんもしくは白血病を処置することにおいて使用するための組成物。

【請求項 2】

配列番号 16 のアミノ酸配列を含む、35 アミノ酸長以下の CS-1 ペプチドをさらに
含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記非スプライシング型 XBP1 ペプチドが、配列番号 6 のアミノ酸配列からなり、
前記スプライシング型 XBP1 ペプチドが、配列番号 10 のアミノ酸配列からなり、お
よび

前記 CD138 ペプチドが、配列番号 12 のアミノ酸配列からなる、
請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記非スプライシング型 XBP1 ペプチドが、配列番号 6 のアミノ酸配列からなり、
前記スプライシング型 XBP1 ペプチドが、配列番号 10 のアミノ酸配列からなり、
前記 CD138 ペプチドが、配列番号 12 のアミノ酸配列からなり、および
前記 CS-1 ペプチドが、配列番号 16 のアミノ酸配列からなる、
請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記乳がんが、エストロゲンレセプター陽性乳がん、エストロゲンレセプター陰性乳が
ん、HER-2 陽性乳がん、HER-2 陰性乳がん、トリプルネガティブ乳がんまたは炎症性乳がんである、請求項 1～4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

化学療法剤、電離放射線または免疫療法剤のうちの 1 つ以上から選択されるさらなる処
置と組み合わせて投与するために製剤化される、請求項 1～5 のいずれかに記載の組成物

。【請求項 7】

1 つ以上の免疫刺激剤および／または 1 つ以上の免疫調節剤を組み合わせて投与するた
めに製剤化される、請求項 1～6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

前記 1 つ以上の免疫刺激剤が、カルボキシメチルセルロース、ポリイノシン酸 - ポリシ
チジル酸およびポリ - L - リジン二本鎖 RNA を含むアジュバント；水と油のエマルジョンを含むアジュバント；ならびにタンパク質を含むアジュバントから選択される、請求項
7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記 1 つ以上の免疫調節剤が、免疫系を活性化する抗体および小分子アジュバントから
選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

カルボキシメチルセルロース、ポリイノシン酸 - ポリシチジル酸およびポリ - L - リジ
ン二本鎖 RNA を含む前記アジュバントがポリ ILC である、請求項 8 に記載の組成物

。【請求項 11】

水と油のエマルジョンを含む前記アジュバントがモンタナイドである、請求項 8 に記載
の組成物。

【請求項 12】

前記小分子アジュバントがサリドマイド誘導体である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 3】

前記小分子アジュvantがレナリドマイドである、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

抗 P D - 1 抗体、抗 P D L - 1 抗体または H D A C 阻害剤と組み合わせて使用するための、請求項 1 ~ 1 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 5】

配列番号 6 のアミノ酸配列を含む、35 アミノ酸長以下の非スプライシング型 X B P 1 ペプチド、

配列番号 10 のアミノ酸配列を含む、35 アミノ酸長以下のスプライシング型 X B P 1 ペプチド、および

配列番号 12 のアミノ酸配列を含む、35 アミノ酸長以下の C D 1 3 8 ペプチドを含む組成物であって、がんもしくは前がん状態を有する被験体において免疫応答を誘導すること、および / または被験体におけるがんもしくは前がん状態を処置することにおいて、抗 P D - 1 抗体、抗 P D L - 1 抗体または H D A C 阻害剤と組み合わせて使用するための組成物。

【請求項 1 6】

前記がんが多発性骨髄腫もしくは乳がん、例えば、トリプルネガティブ乳がんであるか、または前記前がん状態がくすぶり型多発性骨髄腫である、請求項 1 5 に記載の組成物。

【請求項 1 7】

配列番号 29 ~ 50 のいずれかのアミノ酸配列を含む、35 アミノ酸長以下のペプチド。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 に記載のペプチドを含む、薬学的組成物。